

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 3月26日

市川市長

団体名 着物リメイク研究会  
(団体番号 23 )  
代表者名 [REDACTED]  
所在地 [REDACTED]

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	356,848円
(2) 補助対象経費総額	215,113円
(3) 補助金交付決定額	123,500円
(4) 補助金交付概算払額	123,500円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	着物リメイク講習会および <sup>市</sup> ファッションショー開催事業
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>○第1回講習会 2023.7.6(木),7(金) 13:30~15:30 開催。 於：市川市役所ミーティングルーム 「着物地で作るアクセサリ (かごめ編み、あわじ編みのブローチ)」 参加者15名。</p> <p>○第2回講習会 2024.1.18(木),25(木) 13:30~15:30 開催。 於：市川市役所ミーティングルーム 「帯地で作るバッグ(サイコロバッグ) 参加者12名。</p> <p>○第16回着物リメイクファッションショー 2024.3.3(日) 13:30 開場、14:00開演。 於：全日警ホール 参加者 39名 (研究会在籍 35名、特別参加 4名)、観客数 254名。</p>
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>講習会案内は、市内公民館に掲示し、また「地域新聞」、「いちかわ読売」紙に掲載し、参加者を募集した。 ファッションショーは、「広報いちかわ」、「地域新聞」、「いちかわ読売」、「定年時代」紙に掲載した。</p>
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>○第1回講習会では、帯地や着物、羽織を使ってブローチ、アクセサリを作った。</p> <p>○第2回講習会では、帯地や着物を使ってバッグを作った。 帯地は、なかなか再生するのは難しいが、お洒落な物が作れ好評だった。</p> <p>○第16回着物リメイクファッションショーは、満席で盛況だった。見た人から「素晴らしいショーで感動した」という声を沢山聞いた。 ショーに参加した人も、「おもい思いの着物で、自分に似合った作品を作れ、ショーに参加できてよかった」と好評だった。 会員以外の特別参加4名もあり、ショーの楽しさを体験してもらうことが出来た。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>着物リメイク研究会に入っていない人も、着物を沢山持ち、持て余している人は多くいると思う。ファッションショーを見て、よい服に蘇り、作れるということをおかしてもらい、よりよい作品ができるように今後も講習会などで呼びかけていきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 着物や帯で作るバッグ

撮影年月日: 2024.11.18(木) 25(木)



タイトル : 着物リメイクファッションショー

2024.3.3(日)  
撮影年月日: 2024.3.3(日)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：着物リメイク講習会及び市民ファッションショー開催事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入①	178,000	ファッションショー参加費 2,000円×35名 市民参加 3,000円×4名、年会費 2,000円×48名
事業収入②	20,000	講習会 参加費（2回分）
補助金収入	123,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	51,292	団体の本会計より充当
補助金返金	-15,944	
合計	356,848	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	85,000	16,000	ファッションショーアナウンサー謝礼10,000円 ファッションショーメイク謝礼（2,000円×3人） その他補助対象外 69,000円
交通費	23,800	4,000	講習会交通費 2,000円×2名 その他補助対象外19,800円
消耗品費	22,117	15,480	インク、生花代、カラーコピー用紙等
印刷製本費	1,355	1,290	コピー代
通信運搬費	2,833	2,833	切手、案内ハガキ代
保険料			
使用料及び賃借料	43,580	42,510	全日警ホール使用料（リハーサル、当日）42,510円 補助対象外 1,070円
原材料費	159,061	133,000	作品用芯地（139,590円）、型紙用ロール紙（15,510円）、その他衣装材料費（3,961円）
食糧費	19,102		お茶代、スタッフ弁当代、ショー出場子どもお菓子代
合計	356,848	215,113	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月11日

市川市長

団体名 市川ジュニアBリーグ

(団体番号 25 )

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	952,432円
(2) 補助対象経費総額	348,846円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



## (5) 実施報告

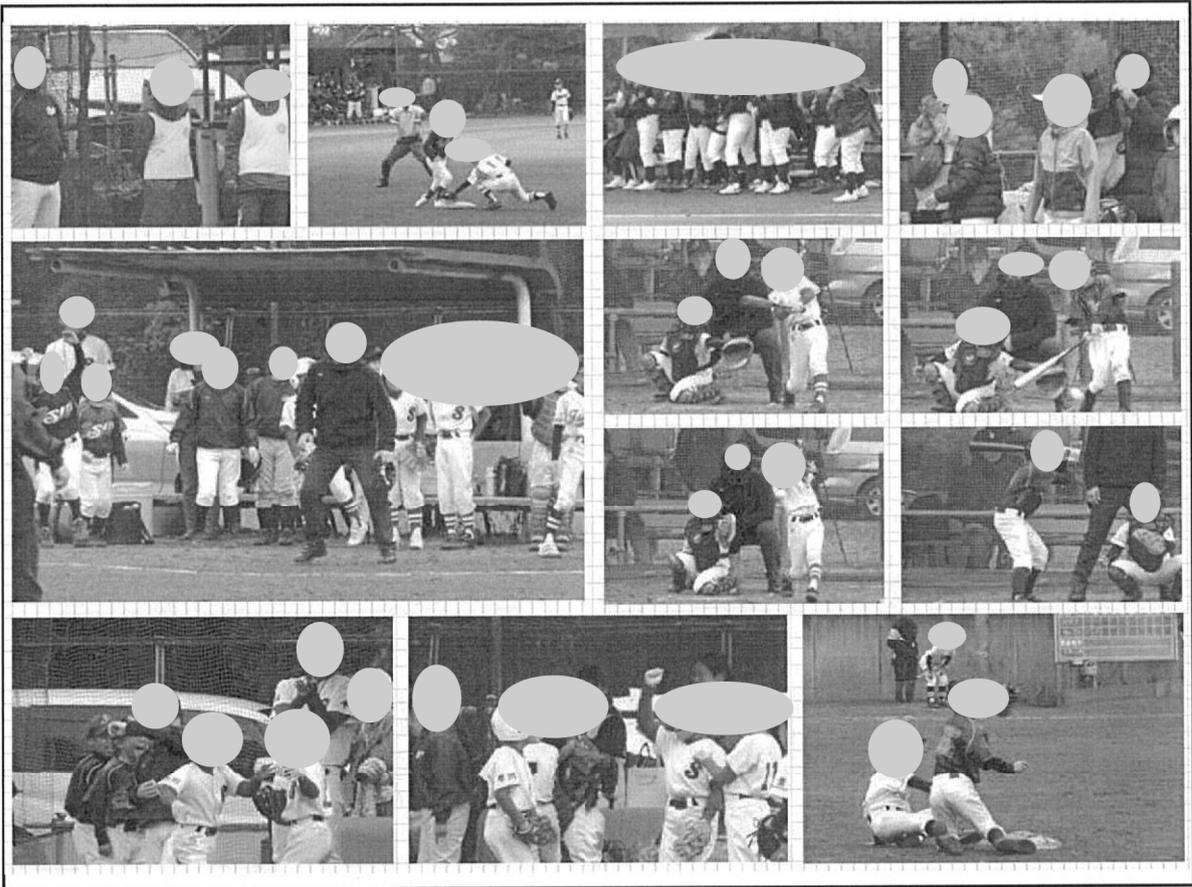
補助決定事業の名称	子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>【実施状況】令和5年度はコロナが5類感染症となり少年野球の世界にも従来の大らかさが復活した年となりました。また、柏井リーグ開幕前、侍ジャパンがWBCで劇的な優勝を果たした野球界にとって特別な年のスタートでした。3月26日、柏井リーグ開会式は全チーム全員参加で開催することができました。若葉が芽生える春が過ぎ、新緑の森が梅雨の水を蓄え、真夏の太陽が深緑の森を作り、実りを結ぶ秋を迎えるまで、毎週毎週、野球少年たちを緑の森に囲まれた野球場へ招待しました。10月1日、ベルカップ大会が開始されました。4年ぶりに入場行進が行われ、華々して光景が復活しました。2か月間のベルカップ大会、子供たちは柏井リーグで練習した成果を発揮しました。柏井少年広場に明るく元気な歓声が響きました。子供たちの明るく元気な姿を見るたび、ウクライナ侵略、パレスチナ戦争による戦禍を思い、平和であることの大切さを感じる一年でもありました。</p> <p>本年度の柏井リーグには29チームが加盟し、428人(うち女子選手55人)の子供たちが4から11月まで延べ186試合を楽しみました。また、ベルカップ大会には28チーム490人(うち女子選手49人)の子供たちが参加し52試合を実施しました。</p> <p>【実施内容】柏井リーグの事業目的である「小学校低学年児童を対象とした野球ゲームの開催事業」により青少年の健全育成は実現できました。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	市川ジュニアBリーグ(通称:柏井リーグ)のホームページにて広く市民に広報しています。
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>柏井リーグには29チーム、428名の子供たちが4月から11月まで楽しく野球をしました。また、ベルカップ大会には28チーム490名の子供たちが参加しました。延べ試合数は238試合(リーグ戦186試合、ベルカップ52試合)でした。市川市有数の自然豊かな森に囲まれた柏井少年広場に子供たちの歓声が響き渡りました。子供たちは指導者及び保護者と一緒に野球をする中で野球をすることが何より楽しいこと、勝った時の嬉しさ負けた時の悔しさ、チームメイトへの思い遣り、努力を継続する大切さ、最後まで諦めないことの大切さ等々を体験しました。保護者は子供との触れ合いが多くなり家族の絆が深まった幸福感を感じると共に地域で協働して子供たちを育成することの大切さを経験しました。また、清掃作業等を通してボランティア活動に対する充実感を持ち地域に愛着を感じるようになりました。</p> <p>子供たちが野球を好きになり将来の夢や希望に繋がることは嬉しいことです。子供たちが礼儀、感謝、思い遣りなどの心を成長させていることは、「青少年の健全育成」という柏井リーグの活動目的が達成できた証だと思います。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>少子化とスポーツの多様化によって野球をする子供たちが減少している現状があります。一番の問題はグラウンド環境衛生であると思います。市川市の担当各位並びに多くの方々の努力により、市川市において少年広場等のグラウンドは確保されました。しかし衛生環境、特にトイレは旧態依然であり、選手・指導者・保護者も含めて年間延べ20,000名もの参加者が集まる柏井少年広場に水洗トイレを作ることが出来ない市川市の姿勢は地域スポーツを軽視する考えであり、野球人口減少の最大の責任だと考えます。どれだけ無償のボランティア支援で少年野球人口減少に頑張ろうとも、市川市の後ろ向きな姿勢は全ての少年野球関係者にとって落胆しかありません。</p> <p>近隣市のグラウンド環境を見るにつけ、市川市のスポーツ施設、特にトイレ環境の後進性は明らかです。柏井リーグのコンセプトは行政でなければ出来ないことは行政にお願いし、整備清掃等ボランティアの力で出来ることは自分たちで行う。それが地域財政への貢献であり地域への愛着を醸成する行動であると考えています。このように、保護者の意識変革もしてボランティア協力を募り、様々なグラウンド整備・清掃をして、安全安心なグラウンド作りに頑張ってきましたが、水洗トイレ一つ作れない判断には本当に落胆しました。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ベルカップ大会の試合の様子

撮影年月日 : 令和5年11月12日



タイトル : グラウンド整備の様子

撮影年月日 : 令和5年3月19日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	715,000	柏井リーグ参加賞1チーム15,000円×29チーム ベルカップ大会参加賞1チーム10,000円×28チーム
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	87,432	団体の本会計より充当
合計	952,432	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	266,469	0	記念品（優勝、準優勝、第三位、敢闘賞の8チーム分のトロフィー、メダル等の大会賞品、賞状印刷）、審判講習会弁当代
交通費	0	0	
消耗品費	366,963	345,516	石灰、砂・砕石、発電機ガソリン200ℓ、除草剤、審判用具、文房具等、草刈機・発電機の消耗部品代、グラウンド整備材、防球ネット・ベンチ等の補修材料、整備道具（散水ホース等）他
印刷製本費	217,960	0	案内状、会議資料、駐車券、活動報告書等の印刷費
通信運搬費	2,020	0	通信費
保険料	13,680	0	スポーツ保険料
使用料及び賃借料	5,550	3,330	会場使用料、AEDリース料
備品購入代	46,840		パソコン 22,800円 ミストシャワー 13,530円 チェーンソーハンディタイプ 10,510円
その他経費	32,950		備品修繕料（発電機修理工賃等）26,950円 草刈機点検代 5,000円 グッドコーチング講演会参加費 1,000円
合計	952,432	348,846	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年 12月 28日

市川市長

団体名 傾聴ボランティアサークル  
「うさぎの耳」  
(団体番号 27)  
代表者名 [REDACTED]  
所在地 [REDACTED]

2023年 10月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

(1) 補助決定事業費総額	176,012円
(2) 補助対象経費総額	174,304円
(3) 補助金交付決定額	93,200円
(4) 補助金交付概算払額	93,200円



## (5) 実施報告

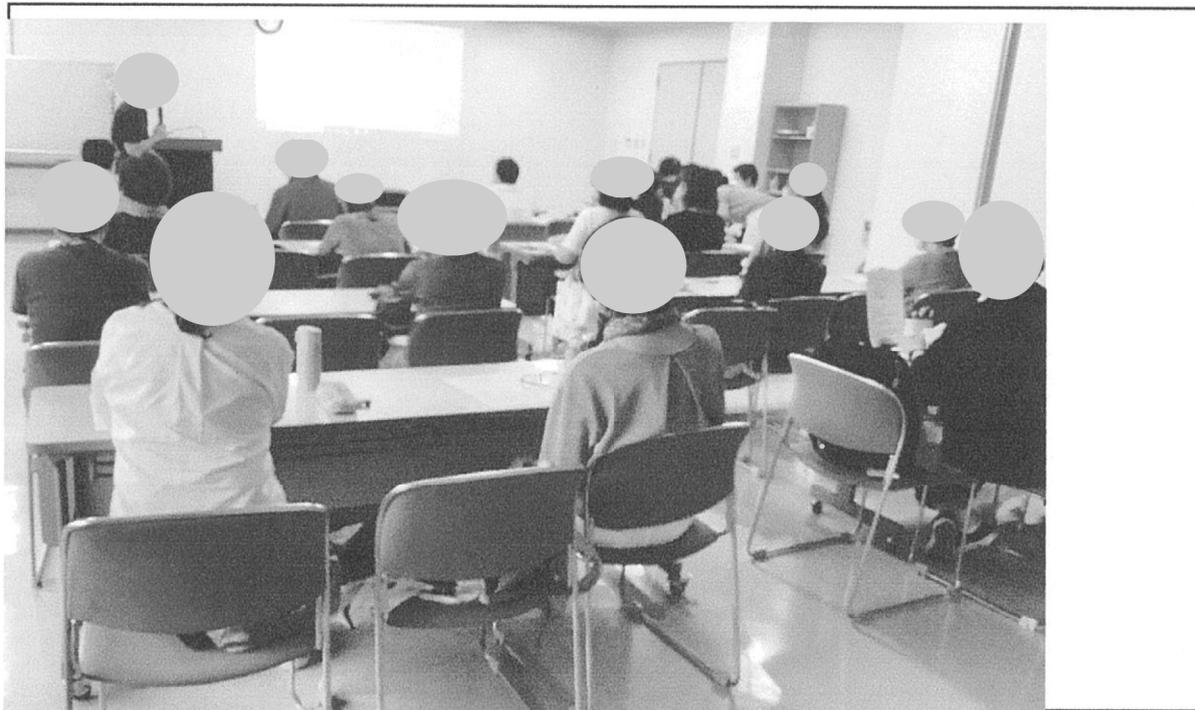
補助決定事業の名称	傾聴ボランティア養成講座
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>11月6、13、20、27、12月4日13:30～16:00JA妙典支店会議室に於いて講師■■■■による「傾聴ボランティア養成講座」を実施した。20名の募集に対して22名の参加があった。</p>
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO課を通して各公民館へのチラシの設置</li> <li>・ 広報いちかわ・市川よみうり・定年時代に記事として掲載</li> <li>・ 市内図書館、文化施設へ設置</li> <li>・ 介護事業所24ヶ所・介護施設16ヶ所・ケアカフェへのチラシの持参、送付</li> <li>・ 元会員、休会会員を含む知人にチラシを送付</li> </ul>
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>5日間計17.5時間という受講時間で「傾聴ボランティア」としての基礎的知識や心構えを身に付けていただくことは達成できた。この講習会の結果22名の受講者の内12名が入会した。今後さらに学びを深め独居高齢者や施設の需要に応えられるようにしていきたい。入会されなかった方やチラシを目にした方を含めて市民の傾聴への意識が深まったのではないかと思う。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>今回NPO課のご助力をいただき「傾聴ボランティア養成講座」の実施が出来た。</p> <p>市川市は市内の交通が江戸川放水路を挟んで行き来が不便であるので今回は行徳地区で開催したが来年度は開催地区を変更し、市川地区で同様の講習会の実施を検討している。それによって市川全体の施設や個人宅にも交通費の自己負担をあまり増やさずに長く継続して伺える会員を増やしていきたい。</p> <p>チラシの設置については、可能であれば、公民館の他、図書館や文化施設へのチラシも、市の定期便にのせて頂ければ有難い。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

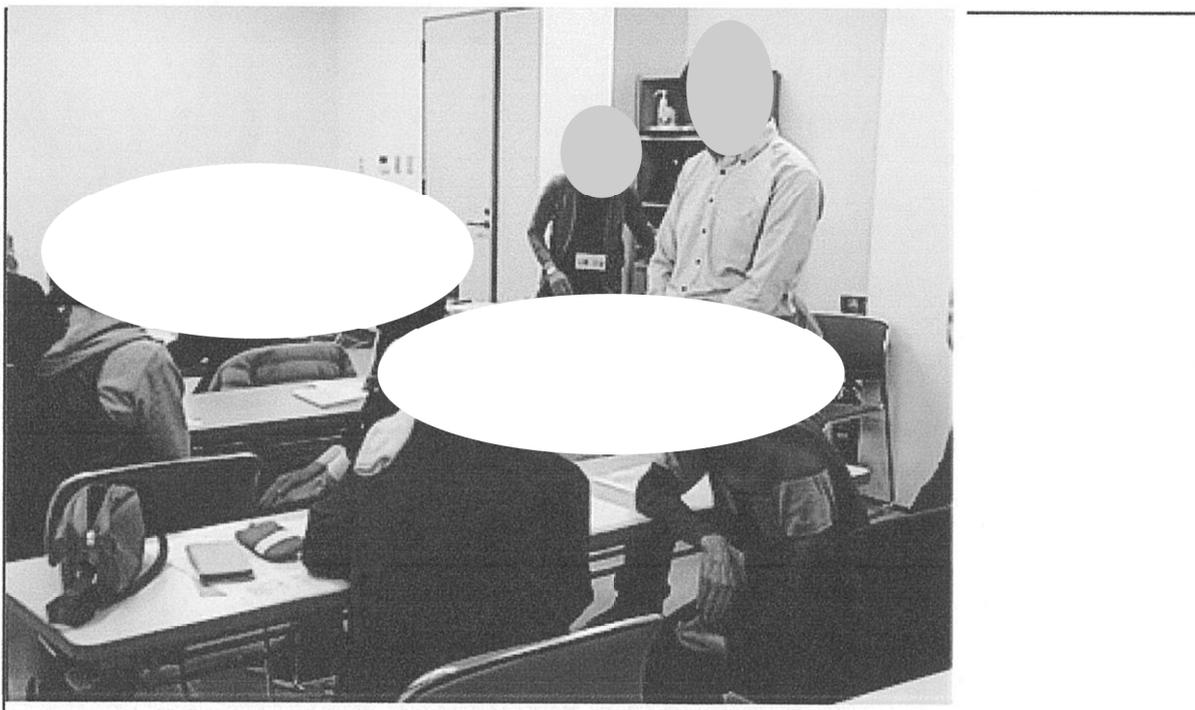
タイトル : 講座初日 (講義)

撮影年月日 : 2023年11月06日



タイトル : 講座第3日目(ペア・プレイ)

撮影年月日 : 2023年11月20日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 傾聴ボランティア養成講座

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	66,000	受講料3,000円×22人
寄附金収入	0	
補助金収入	93,200	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	22,860	団体の本会計より充当
補助金返金	▲6,048	
合計	176,012	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	105,000	105,000	外部講師等の招へい <input checked="" type="checkbox"/> なし（21,000円×5日）
交通費	27,040	27,000	スタッフ交通費¥21,060 施設訪問交通費¥5,980 （チラシ配架のため）
消耗品費	7,904	7,904	インク代、用紙代等
印刷製本費	11,600	10,000	印刷依頼600枚¥9,900 不足分コピー170枚¥1,700
通信運搬費	9,468	9,400	切手代¥94円×22枚 レターパックライト¥370円×20 （介護事業所への送付）（欠席者、休会・退会者への送付）
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	15,000	15,000	会場使用料（3,000円×5日）
原材料費	0	0	
合計	176,012	174,304	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年2月14日

市川市長

団体名 東部マンドリーノ

(団体番号 29)

代表者名

所在地

令和5年10月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	498,138
(2) 補助対象経費総額	193,580
(3) 補助金交付決定額	150,000
(4) 補助金交付概算払額	150,000



(5) 実施報告

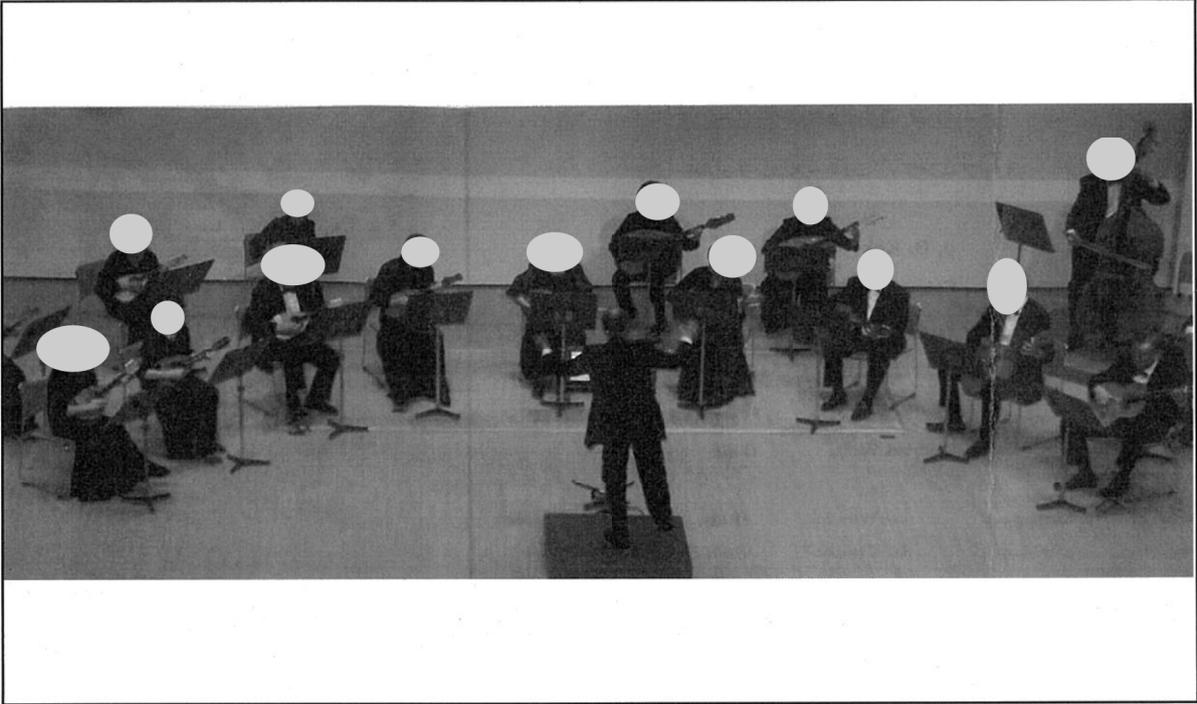
補助決定事業の名称	マンドリン演奏による地域への文化活動推進事業
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと。 ・令和5年10月15日、市川市市川文化会館小ホールにて第17回演奏会を開催。入場者は190名。 ・令和5年10月29日、東部公民館文化祭演奏、来場者は80名。
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・令和5年の市販に掲載依頼。 ・各公民館にチラシ配布し宣伝。 ・地域新聞・定年時代に掲載依頼。 ・前回来場者に案内状送付。
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・第17回定期演奏会と東部公民館文化祭演奏会で地域の方々にマンドリン演奏活動の一端を見ていただいた。 ・半面、コロナウイルス感染の影響が怖い市内高齢者施設へのボランティア演奏が少なかった。 ・3回実施：7月4日/あしびなあ、7月11日/市川ステイ、12月19日/あしびなあ。  大雨の中、大勢の方に 来場頂きカンゲキした 
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・コロナウイルス感染も落ち着いてきたので、市の社会福祉協議会さんと協力して、ボランティア演奏会を増やしていきたい。 ・以前ボランティア演奏会を行った先に積極的にアプローチをしてゆく所存。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第17回 東部マンドリーノ演奏会

撮影年月日: 令和5年10月15日



タイトル : ボランティア演奏 地域密着型デイサービス「あしびなあ」にて

撮影年月日: 令和5年12月19日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：マンドリン演奏による地域の文化活動推進事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	401,348	団体の本会計より充当
補助金返金	-53,210	
合計	498,138	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	220,000	95,000	《東部マンドリーノ演奏会》 指揮：20,000円、司会：10,000円、セロ：5,000円、 コントラバス：20,000円、ギター：10,000円、 CD・DVD制作：20,000円 《東部公民館文化祭》 指揮：10,000円 その他補助対象外：125,000
交通費	0	0	
消耗品費	1,271	0	補助対象外：1,271円
印刷製本費	25,145	7,820	《東部マンドリーノ演奏会》 プログラム：6,970円 《東部公民館文化祭》 プログラム：850円 その他補助対象外：17,325円
通信運搬費	24,325	0	補助対象外：24,325円
食糧費	30,020	0	補助対象外：30,020円
使用料及び賃借料	138,990	90,760	文化会館使用料：41,250円 文化会館設備使用料：49,510円 その他補助対象外：48,230円
原材料費	620	0	補助対象外：620円
諸雑費	57,767		補助対象外：57,767円
合計	498,138	193,580	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第7号 (第8条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業 (中止・廃止) 承認申請書

年 月 日

市川市長 田中 甲様

団体名 鬼越3.27会  
(団体番号 31)  
代表者名  
所在地

令和5年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の (中止・廃止) の承認を受けたいので申請します。

記

1 補助決定事業の名称

鬼越川歩け歩け大会

2 (中止・廃止) の理由

新型コロナウイルスが収束が見られず  
本件も中止せしめた。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年2月29日

市川市長 田中 甲 様

団体名 子育て応援メッセ実行委員会

(団体番号 34 )

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	489,315円
(2) 補助対象経費総額	302,186円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業	
<p>補助決定事業の実施内容</p> <p>(計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>今年度は、会場の人数制限は緩和されましたが、子育て応援メッセとハッピーマタニティフェスタは事前申込みを基本として、人数の少ない午後のみ飛び入り参加ありにしました。</p> <p>4月21日(金)第1回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 出展団体スタッフと1組の0才親子が参加し、子育て中の親子が主役になれる企画を検討しました。 (参加者大人17人、子ども1人、スタッフ5人)</p> <p>5月19日(金)第2回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 新たに3組の0才、1才の親子が参加。追加予約したフローリングの会場で新企画を実施し、出展団体同士のコラボ企画も昨年に引き続き行われることになりました。 (参加者大人23人、子ども2人、スタッフ6人)</p> <p>6月23日(金)子育て応援メッセinいちかわ開催 (全日警ホール1階ホール・練習室、2階展示室・第3会議室) 今年度は、事前受付を前日夜7時まで、人数制限をせずに受付けたところ、午前88組、午後65組の申込みがありました。 たくさんの方に来ていただこうと、地域のコミュニティペーパーに告知掲載をしてもらった結果、様々な媒体を通してお申込みいただきました。 午前は当日キャンセルも多く、午後は飛び入り参加もあり、最終的には午前午後同じくらいの来場者となり、大きな混雑もなく無事終了することができました。 昨年のプラスバンド演奏に加え、今年は、0才児のママ講師によるヨガ体験やサークルメンバーの発表も行いました。ベビーダンス体験には、0才、1才のお子さんと一緒にママさんたちがアシスタントとしてお手伝いくださいました。子育て当事者が活躍できるイベントの形が戻ってきたと思います。 (参加者午前64組138人・午後67組138人、出展者大人99人・子ども9人、スタッフ8人)</p> <p>7月21日(金)第3回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 午前午後入れ替え制をやめて、出入り自由に、一日滞在できるようにして、調乳指導の事前申込みによって、来場者を分散させることにしました。また、昨年の反省点を活かして、沐浴体験を1階で実施し、会場整理等のお手伝いを周りのブースにお願いし、連携のとれた会場作りを検討しました。 (参加者大人12人、子ども1人、スタッフ3人)</p> <p>9月29日(金)第4回打合せ兼交流会(全日警ホール2階第2会議室) 新たに、産前産後の呼吸法や寝かしつけステップ体験を実施することになり、参加者が楽しめるメニューも増えました。 (参加者大人13人、子ども3人、スタッフ6人)</p> <p>10月9日(月・祝)ハッピーマタニティフェスタ開催(全日警ホール1階ホール・練習室、2階第3会議室) インフルエンザが広まっている中、換気や消毒等を配慮しながら開催しました。 あいにくの雨でしたが、当日欠席された方は60組中8組と、参加率も高く、ほとんどの方がご夫婦で来られておりました。 産婦人科医院様より、助産師・看護師・栄養士等、専門職員のご協力があり、沐浴体験だけでなく、赤ちゃんの心音を聞いたり、個別相談にも対応していただけたことは、妊婦さんにとっても心強かったと思います。産後ドゥーラ様の産後プランニングも好評でした。 (参加者58組115人[うち市内在住55組109人]、見学者大人6人、出展者60人、スタッフ8人)</p> <p>12月15日(金)第5回ふりかえり兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) 今年度のイベント感想や今後の課題について意見を出し合い、出展内容や動線などを検討し、参加者が楽しみながら情報収集できるように工夫しながら、来年度も開催することになりました。</p> <p>2月のオンライン・子育て応援メッセについても、行動制限が緩和されてお出かけ場所も増えた今、ニーズがあるだろうかという意見が出ましたが、寒い時期、産前産後の人を対象を絞ってやることになりました。夫婦で参加できるように、日程を変更して23日祝日に開催することになりました。 (参加者大人8人、スタッフ2人)</p> <p>1月26日(金)第6回オンラインメッセ打合せ兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) オンラインでも、対面式イベントと同じくらい楽しめるように、参加者に当分の資料をレターパックで送り、画面越しに一緒に身体を動かせる内容も増やすことにしました。 (参加者大人9人、子ども1人、スタッフ3人)</p> <p>2月23日(金・祝)オンライン・子育て応援メッセinいちかわ(zoomによるオンライン開催) 申込み開始2日で、資料配付予定人数を越す申込みがあり、早帰り中、出産後すぐの人の参加も多かったです。 参加者もコロナ禍にオンラインイベント参加やテレワークを経験した人が多いためか、スムーズに入室されていました。 スタッフの連携もうまく、クオリティの高いオンラインイベントとなりました。 (申込者54組、関係者22人、スタッフ4人) 年間を通して、各イベントの出展団体の紹介をブログやLINEで発信し、イベントに参加できない方にも情報提供を行いました。</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>イベント参加者 731人 (725人)</p> <p>子育て情報提供 不特定多数</p>
<p>広報の実施状況</p> <p>(市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載)</p>	<p>いちかわ子育てネットワークのLINE配信を中心に、インスタグラム、ブログ等、SNSで情報発信しました。 チラシを地域子育て支援拠点(支援センター・親子つどいの広場)と市川市保健センター・アイティ、こども館に置いてもらいました。 子育て応援メッセの時は、地域のコミュニティペーパーに告知掲載してもらいました。 マタニティフェスタの時は産院(3か所)にもチラシを置いてもらいました。</p>	

してください。)	イベントのブログ ( <a href="https://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/">https://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/</a> ) をイベント前はほぼ毎日発信することによって、イベントの告知だけでなく、子育て情報の発信にも効果がありました。
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>子育て応援メッセの来場したお子さんは3/4が0才児、1/4が1才児、2才以上は3名でした。上にお子さんがおられる方もいましたが、0才児向けのイベントとして定着してきたと感じられます。また、昨年のマタニティフェスタに参加された方もおられ、一過性のイベントではなく、つながり作りになっていることを実感しました。</p> <p>子育て中のママたちがアシスタントとして手伝ってくださり、コロナ禍できなかった、子育て当事者が活躍できるイベントの形が戻ってきたと思います。</p> <p>マタニティフェスタには、ほとんどの方がご夫婦で来られており、熱心に調乳や沐浴体験をされていて、男性育児が当たり前になりつつあると感じさせられました。</p> <p>昨年の反省点を活かし、調乳体験を事前予約制にして、沐浴体験は1階ホール中央で実施したところ、人の流れも良く、会場内が混雑することもなく、ほとんどの方にいろいろな体験をしていただくことができました。食事がとれる休憩場所を利用して、長時間滞在してくださった方もおられました。</p> <p>感想を寄せてくださった参加者は少なかったですが、皆さんとても楽しんでもらった様子でした。</p> <p>オンライン・子育て応援メッセは、思った以上にニーズがあり、寒い時期のイベントとして定着させていきたいと思います。</p> <p>参加者の感想は少なかったですが、とても楽しめたと評価は高かったです。</p> <p>妊娠期を支える「マタニティフェスタ」、地域とのつながりを体感できる「子育て応援メッセ」「オンライン・子育て応援メッセ」、3つのイベントが「妊娠・出産・子育て」を継続的にサポートする流れを作っています。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>子育て応援メッセの事前受付を前日夜7時まで、人数制限をせずに受付けたところ、午前88組、午後65組の申込みがありました。昨年度までは、50組で締め切っていたので、これだけの方々がこのようなイベントに関心があることに、改めて気づきました。</p> <p>関心のある方に、たくさん来ていただけるように、会場設営や告知に工夫が必要だと思っております。</p> <p>参加者や出展者からの出展内容に対するリクエストはたくさんありますが、「対象を絞って伝えたいことをきちんと伝える」「参加者が受け止めやすい形で情報を提供する」ことを大事にして、今後もイベント企画をしていきたいと思っております。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

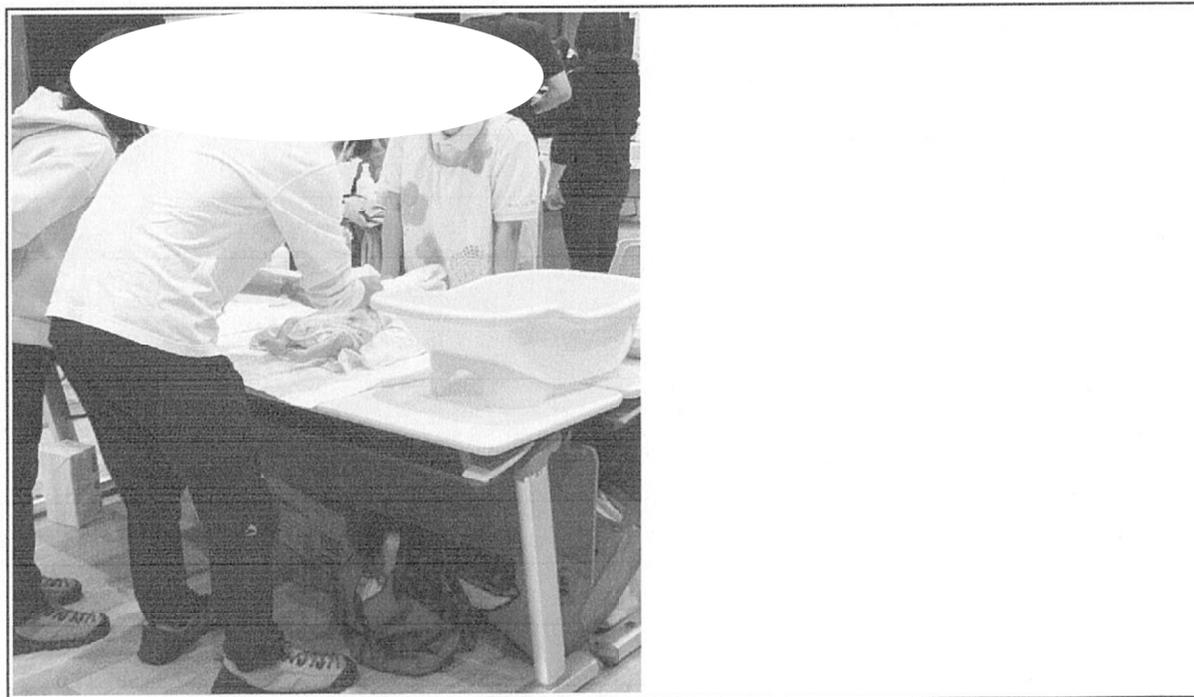
タイトル : 子育て応援メッセinいちかわ サークル発表の様子

撮影年月日 : 令和5年6月23日



タイトル : ハッピーマタニティフェスタ 沐浴体験の様子

撮影年月日 : 令和5年10月9日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	247,000	出展・冊子協賛金10,000円×19、5,000円×9、3,000円×4
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	92,315	団体の本会計より充当
補助金		市川市市民活動団体事業補助金返金
合計	489,315	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	80,000	80,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし 5,000円×5名、10,000円×4名、15,000円×1名
交通費	14,820	14,820	マタニティ当日駐車場代 900円×5 チラシ配布駐車場代 600円×1 スタッフ交通費 @300円×2名、@340円×6名、@440円×6名、@740円×6名
消耗品費	25,277	25,277	朱肉 110円、領収書 110円、 はんこマット 110円、封筒 220円 クリアポケット 110円×2 クリアファイル 1,188円×2 ラベルシール 985円、USBメモリ 858円 用紙 795円、2,684円 インク代 7,440円、5,495円 テープ 1,408円、220円、110円 ペーパータオル 1,314円、ゴミ袋 261円 ウエットティッシュ 561円
印刷製本費	72,089	72,089	配布資料印刷代 90円、160円、480円 チラシ印刷代 310円、2,079円 子育て情報誌印刷500部 68,970円
通信運搬費	20,742	20,000	チラシ・資料等送付切手 140円×25、94円×8、210円×1 レターパック 370円×44
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	98,670	90,000	交流会会場 3,330円×3回、1,280円×1回 子育て応援メッセ会場費 45,810円 マタニティフェスタ会場費 41,590円
原材料費	0	0	
飲食費	1,757		スタッフ・講師用お茶20本
スタッフ費	175,960		ボランティア謝礼(クオカード8名分) 7,960円 スタッフ活動費・ブログ掲載通信費等 5,000円×4、10,000円×2、15,000円×4、 30,000円×1、38,000円×1
合計	489,315	302,186	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年3月5日

市川市長 田中 甲 様

特定非営利活動法人  
団体名 いちかわ子育てネットワーク  
(団体番号 35 )  
代表者名 XXXXXXXXXX  
所在地 XXXXXXXXXX

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	77,605円
(2) 補助対象経費総額	42,634円
(3) 補助金交付決定額	52,500円
(4) 補助金交付概算払額	52,500円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業	
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>65人 (65人)</p> <p>&lt;つながるセミナー&gt; 「幼稚園ってどんなところ？」 ①7月27日(木)10時～12時 於)行徳公民館3階レクリエーションホール 東浜幼稚園、塩浜幼稚園、ソフィア幼稚園にご参加いただき、「幼児期に大事なこと」についてお話しいただいた後、各園の紹介、ふれあい遊びと絵本の読み聞かせ、個別相談タイムを設けました。 参加者:大人5名 子ども4名 登壇者:6名 スタッフ:2名 ②7月28日(金)10時～12時 於)男女共同参画センター7階研修ホール 市川市北部地区は参加希望者が多く、市川会場、八幡会場に分けて開催することにしました。 市川会場には、宮久保幼稚園、自然幼稚園、日出学園幼稚園にご参加いただき、「幼稚園と保育園の違い」についてお話しいただいた後、各園の紹介、質問タイム、個別相談タイムを設けました。 参加者:大人8名 子ども5名 登壇者:3名 保育協力:1名 スタッフ:大人3名 子ども1名 ③7月31日(月)10時～12時 於)全日警ホール2階第3会議室 みどり幼稚園、白菊幼稚園、日出学園幼稚園にご参加いただき、市川会場と同じプログラムで実施しました。 参加者:大人18名 子ども15名 講師:3名 保育協力:2名 スタッフ:3名</p> <p>「保育園入園手続き」は類似した無料セミナーを市川市が開催したので、中止することになりました。</p> <p>「パパの赤ちゃんお世話体験」は親子つどいの広場(八幡、新井)や地域子育て支援センター(こあらっこ・こどもセンター、シーガルこどもセンター)で沐浴体験を定期的に行うようになったため、中止することになりました。</p> <p>&lt;つながる勉強会&gt; 3月31日(日)14時～16時 於)行徳公民館3階第4研修室 市川市行徳駅前にある根本産婦人科医院の助産師さんをゲストにお呼びして、院内助産や産後ケアの様子についてお話を伺い、市川市こども家庭支援課担当者、保健センター職員より、今年度の事業や相談受付状況を報告していただきました。いちこネットのLINE相談についての報告をはじめ、参加者のそれぞれの立場で日常の活動で感じることを発表していただき、全員で課題を共有しました。 参加者:10名 ゲスト・市関係者6名 スタッフ2名</p>	
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちこネットのLINEで発信</li> <li>・関係者にメールで直接お知らせを送る</li> <li>・いちかわっこWEBでイベント情報掲載</li> <li>・ブログ等のSNSで告知</li> <li>・地域子育て支援センター、親子つどいの広場等、子育て支援拠点に案内状送付</li> </ul>	
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>育児取得が増え、出産後、保育園に預けて仕事復帰される方が増えている中、幼稚園での教育に関心がある方に、共働きでも幼稚園に通わせる選択肢があることを伝えようとした&lt;つながるセミナー&gt;では、参加者の多くが自身が幼稚園に通っていた人で、こちらの意図しているターゲットに参加していただけた。幼稚園と保育園の違いや子どもの成長に幼稚園での教育がもたらすものを、セミナーを通して伝えられたと思います。</p> <p>&lt;つながる勉強会&gt;では、根本産婦人科医院の病院内での取組みが知れて、勉強になりました。地域で活動する人たちと産院がつながることによって、「妊娠・出産・育児」の切れ目ないサポート体制の構築や専門家とボランティアの役割分担が明確になったと感じました。後半の意見交換では、参加者が一言ずつ現状を報告するだけで時間がいっぱいになってしまいましたが、それぞれの課題を共有できたことが一番の成果だと思います。今後は、共有した課題を、それぞれの活動に活かしていってもらえればと思います。</p>	
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>&lt;つながるセミナー&gt;では、当日連絡無しのキャンセルが多かったことが気になりました。行動制限が緩和され、お出かけ場所も増えたことも関係あるかも知れませんが、気軽に申込みできる一方で、申込んだことを忘れてしまったり、行くのが面倒になってしまったりする人が増えたように感じました。 ゲストに各幼稚園の先生方にお越しいただいて、参加者が少ないと申し訳なく、費用対効果も悪くなります。今後は別のイベントとコラボするなど、他の方法を検討していきたいと思っております。 新型コロナウイルス関係の様々な制限の影響が、人との関わり方などに出てきていると感じています。自分の希望・要望は通そうとする一方、突然キャンセルする人が増えてきているという声もありました。子どもが遊んでいる中で、周りの子どもとトラブルがあった場合、少し見守って子どもの対応力を育てていこうと思う人が減り、その場から子どもを離してトラブルを回避させようとする人が増えているという声もありました。このような変化が今後の子育て環境にどのように影響を与えるのか、どうすれば大切なことを親子に伝えられるのか、今後も子育てに関わるみんなで話し合っていきたいと思っております。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。  
つながるセミナー

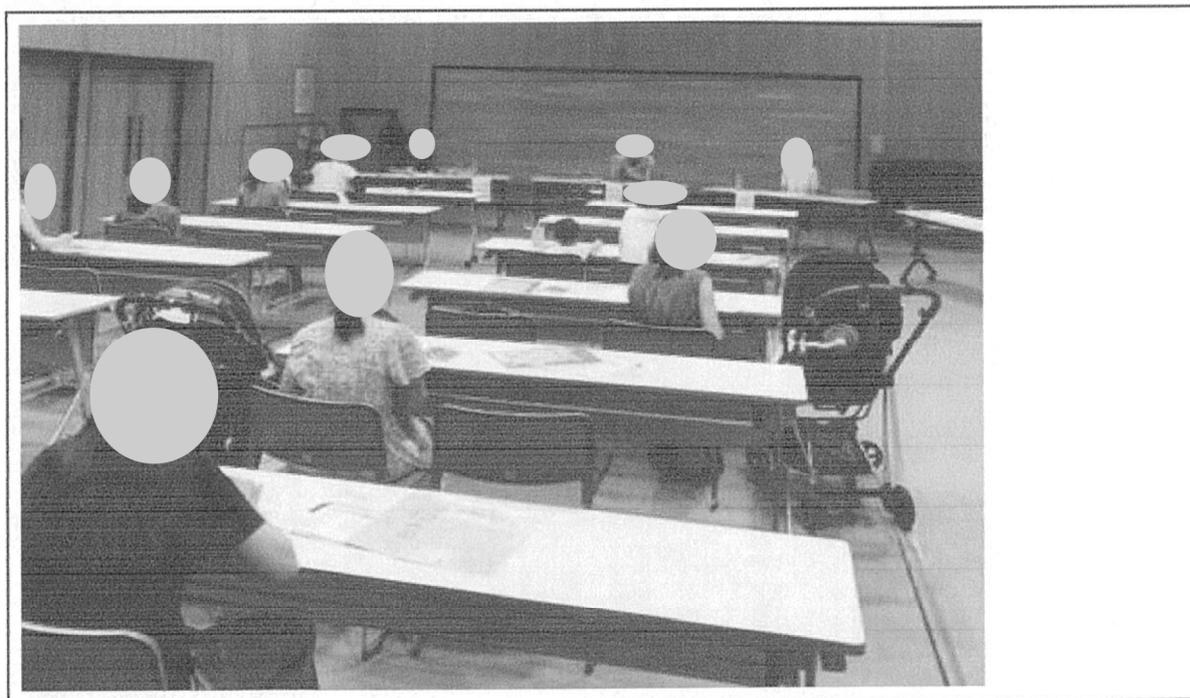
タイトル : 幼稚園ってどんなところ? (行徳会場)

撮影年月日: 2023年7月27日



タイトル : 幼稚園ってどんなところ? (市川会場)

撮影年月日: 2023年7月28日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 子育てに関わる人たちのためのレベルアップセミナー開催事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	24,000	参加費@500円×28名、@1,000円×10名
寄附金収入	-	
補助金収入	52,500	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	-	
会費充当	32,288	団体の本会計より充当
補助金	-31,183	補助金返金分
合 計	77,605	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	15,000	15,000	外部講師等の招へい <input checked="" type="radio"/> あり / なし 保育謝礼5,000円×3回
交通費	4,060	4,060	スタッフ交通費 340円×1、500円×1、1040円×2、 1,140円×1
消耗品費	7,894	7,894	用紙代（500枚） 437円 インク代 6,930円 消毒用ウエットティッシュ 527円
印刷製本費	0	0	印刷物はプリンターを使用しました
通信運搬費	2,660	2,660	チラシ資料送付切手代 140円×10、84円×15
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	13,020	13,020	行徳公民館 3,150円、990円 男女共同参画センター 4,440円 全日警ホール 4,440円
原材料費	0	0	
飲食費	2,021		スタッフ・講師お茶代
スタッフ費	32,950		スタッフ謝礼・交通費クオカード9,950円 告知準備諸経費@2,000円×4回 セミナー進行等スタッフ費@3,000円×5名
合 計	77,605	42,634	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和6年 2 月 9 日

市川市長 田中 甲 様

団体名 子育て交差点実行委員会  
(団体番号 36 )

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	267,586円
(2) 補助対象経費総額	201,666円
(3) 補助金交付決定額	120,000円
(4) 補助金交付概算払額	120,000円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て交差点行徳開催事業	
<p>補助決定事業の実施内容</p> <p>(計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>8月25日(金) 打ち合わせのお知らせ作成、関係者に配布  9月8日(金) 第1回打合せ兼交流会(参加者12人・スタッフ3人)  イベント趣旨確認・内容検討、来年度以降の方向性検討  出展者・講師・スタッフの情報交換  体験型イベントや息抜き、気軽な相談の場を取り入れる  参加申込・アンケートフォーム作成、チラシ作成・配布開始  ブログ等にて開催内容を具体的に発信  10月20日(金) 第2回打合せ兼交流会(参加者16人・スタッフ2人)  今後の方向性確認、当日の内容・レイアウト確認  混雑が集中しない会場づくりについて検討  新しく参加される団体、出展者・講師・スタッフの情報交換  11月1日(水) 参加受付開始・前日まで受付、人数制限無し  11月10日(金) 子育て交差点開催  事前申込147組、当日参加者114組240人(うち市民236人)  出展者等86人、スタッフ7名  各団体の紹介、抱っこ紐チェック、ベビーダンス体験、  バランスボール体験、ベビーマッサージ、子育てコーチング、  助産師・保健師・保育士相談、手作りアルバム作品展示、  幼稚園情報、カラーセラピー体験、等  終了後、ふりかえりの会開催(16時~17時)  参加者25人、スタッフ5人  12月15日(金) オンラインにてふりかえりの会開催  参加者8人、スタッフ2人  今年度の見直し、来年度の企画案  来年度は行徳文化ホールI&amp;II工事のため、行徳公民館で実施  市川市子ども家庭支援課と共催で行う  企業の出展はダメだが、講師としてお願いするのはOK  会場が狭くなるため、出展内容を検討する</p>	<p>受益者数 (うち市民の数)</p> <p>387人 (383人)</p>
<p>広報の実施状況</p> <p>(市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちかわ子育てネットワークのLINEで告知</li> <li>・南行徳保健センター、山口病院、根本産婦人科医院にチラシ配布を依頼</li> <li>・地域のコミュニティペーパーにて告知</li> <li>・その他、ブログ・インスタグラム等、SNSを利用して情報発信</li> </ul> <p><a href="http://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/">http://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/</a></p>	
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>準備の都合上、今年も事前申込み制にしましたが、人数制限をせずに前日午後6時まで受付けたところ、午前88組、午後59組の申込みがありました。  あいにくのお天気になり、当日キャンセルもありましたが、午前70組、午後44組の親子に参加していただきました。  例年、午前中に参加者が殺到することと、人数に限られる体験イベントの整理券の配布に課題を感じており、今年は2点やり方を変えてみました。  昨年の参加者アンケートで「子連れで早く入場するのは難しい」というご意見をいただき、入場時先着順で配布していた体験イベント整理券を、今回は、申込時に参加を受けました。午前の部の体験イベントが早めにいっぱいになりましたが、午後の部を選ぶ方もいて、午前中の混雑を解消することができました。また、来場者が体験イベントに合わせて時間差で来られたため、入場受付もスムーズに対応することができました。  もう1点、会場内の混雑緩和のため、体験イベントを1階と2階に分けて実施しました。そのため、人の流れも良くなり、ゆったりとブースを回るすることができました。</p>	
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>平日開催にもかかわらずご夫婦で参加される方も多く、男性育休取得が増え、子育て家庭の状況がますます多様化したことを実感しました。  夫婦・家族で楽しめるもの、男性向けの育児情報、など、内容に工夫が必要だと思いました。  地域子育て支援センターが、センターを閉じて子育て交差点に参加していたため、普段、センターに来られている方がセンターに行く代わりに来られていて、「初めて子育てしている人へのお出かけのきっかけ作り」という趣旨とずれるところがあったので、来年度以降は、地域子育て支援センターは閉館せずに、参加できるスタッフが交代で来てもらうか、子ども家庭支援課で子ども館と地域子育て支援センターを両方PRしてもらうようにした方がいいということになりました。  来年は会場が行徳公民館になり、スペースも狭くなるため、出展の形に工夫をして、再来年度以降の方向性を考えます。</p>	

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ベビーダンス発表の様子

撮影年月日 : 令和5年11月10日



タイトル : 1階会場内の様子

撮影年月日 : 令和5年11月10日



## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子育て交差点行徳開催事業

## 1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	145,000	出展・冊子協賛金10,000円×11口、5,000円×7口
寄附金収入	0	
補助金収入	120,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	21,753	団体の本会計より充当
補助金返金	-19,167	
合計	267,586	

## 2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	55,000	55,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> /なし ワークショップ等講師(材料費・交通費込み) 25,000円×1名・20,000円×1名 10,000円×1名
交通費	7,380	7,380	スタッフ交通費 @1,140円×3、 @1,040円×3、@640円×1 冊子配布時駐車場代 200円
消耗品費	16,729	16,729	リストバンド500枚 2,275円、 アルコールウェット・ゴミ袋・キッチンペーパー 1,118円、 除菌ウェットティッシュ 2,376円、 用紙・クリアホルダー 4,769円、 インク代 6,191円
印刷製本費	60,565	53,517	チラシ・資料・配布物印刷代 135円・370円 子育て情報誌400部印刷 59,950円 振込手数料 110円
通信運搬費	1,990	1,990	案内・チラシ・冊子送付切手代 140円×2、94円×3、84円×17、
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	67,050	67,050	公民館使用料 990円×2回 ホール使用料 64,140円 電源使用料・控室代 930円 (使用料減免申請なし)
原材料費	0	0	
飲食費	972		スタッフ・ボランティアお茶12本
スタッフ費	57,900		ボランティアお礼クオカード(8名分) 7,900円、 ブログ掲載通信費(14回分) 15,000円、 スタッフ通信・諸経費 3,000円×1名、 6,000円×1名、13,000円×2名
合計	267,586	201,666	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2024年 3月8日

市川市長 様

団体名 NPO法人市川にオオムラサキを生息させる会

(団体番号 37 )

代表者名

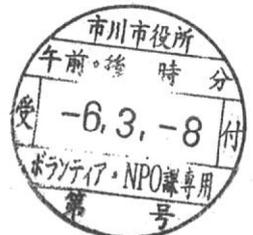
所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	201,543円
(2) 補助対象経費総額	118,906円
(3) 補助金交付決定額	59,453円
(4) 補助金交付概算払額	59,453円



## (5) 実施報告

補助決定事業の名称	オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>○市川市教育委員会の推薦をいただき、本年も市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校がオオムラサキの飼育協力校に参加していただいた。4月中にオオムラサキの越冬幼虫を各20頭ずつ、エノキ各3本ずつ配布し、6月には各学校の3年生児童を対象にオオムラサキの幼虫の観察を中心とした学習の場を提供することができた。</p> <p>○若宮幼稚園、富貴島幼稚園に対してオオムラサキの越冬幼虫を各10頭ずつ配布した。</p> <p>○市川駅南口図書館のご協力をいただき、6月22日～25日の4日間「オオムラサキ観察会」を開催する事が出来た。約781人の市民の方の参加を得た。</p> <p>○中山小学校のオオムラサキの飼育舎の整備と、最終的に数頭のオオムラサキの放蝶を行う事ができた。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>○年2回、「オオムラサキ通信」を市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校、若宮幼稚園、富貴島幼稚園には全児童・園児及び職員と保護者に配布した。また、本会支援者へも配布した。</p> <p>○昨年6月と本年1月に支援会員募集パンフを、市川駅周辺に3,000部ずつ配布した。</p> <p>○小学校3校の3年生児童を対象に、「オオムラサキだより」を発行した。</p> <p>○「オオムラサキ通信」の発行に伴い、本会ホームページを更新した。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>○学校教育との連携を進めることで、オオムラサキと児童・幼児の関わりが少しずつ広がり深まりを見せ始めている。本年度は、中山小・若宮小・大柏小以外に二俣小からも要望があってオオムラサキの幼虫を配布した。次年度以降のさらなる広がりを期待したい。</p> <p>○オオムラサキを日常的に観察することで、オオムラサキに対する児童の意識も深まったと思われる。オオムラサキの学習の場面では、目の前で幼虫を観察する事ができた。子どもたちからは、本物のオオムラサキに接した驚きと喜びの声を聞くことができた。</p> <p>○「オオムラサキ観察会」では、多くの市民の方に観察していただいた。「去年も今頃やっていたね。」等とお声がけしていただいたり、「お隣の友人から聞いてきました。」など、少しずつ来て下さる方の広がり深まりを感じる事が出来た。保育園児、地域在住のご高齢の方、中学生、外国人など、実に様々な方にご覧いただき、興味と関心を持っていただいた。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>○中山小学校の飼育舎を中心として、市川市内での産卵－成長－羽化のサイクルの実現を目指していきたい。ただし、現在はアリやハチなどの天敵に襲われる事も多く、さらに環境整備を進めていく必要がある。</p> <p>また、オオムラサキ関係の他の保護団体等との連携を図っていきたい。</p> <p>○会員尾高齢化に伴い、会員数が減少傾向にある。新聞折込や観察会などを通して、あらたな支援会員を増やしていく必要がある。</p> <p>また、有志によるオオムラサキの飼育の輪を広げていきたい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 小学校におけるオオムラサキの学習

撮影年月日 : 2023 6.8中山小学校にて



タイトル : オオムラサキ観察会 (市川駅南図書館)

撮影年月日 : 2023 6月28日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発活動

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	59,453	
その他(助成金等)		
会費充当	142,090	団体の本会計より充当
補助金返金		
合計	201,543	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり(なし)
交通費	16,220	16,220	幼虫等調達のための交通費(町田(3,900円)市内幼稚園,小学校,博物館交通費(12,320円))
消耗品費	60,615	44,936	オオムラサキ幼虫(14,000円) 雨どい(7738円) イレクターパイプ+ジョイント(7,997円) 風よけ(防鳥)ネット(3,476円+2,618円+4,136円) エノキ20本(8,650円) 飼育舎用消耗品(収穫ネット、ビニールタイ、プランター、両面テープ、レンジ容器等 11,450円) 封筒(550円)
印刷製本費	34,605	30,870	オオムラサキ通信(9,404円+6,729円) 学習用資料(3,270円) 支援会員パンフ(7,272円+7,930円)
通信運搬費	14,070	1,470	切手代+往復はがき(9,870円+4,200円)
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
その他経費	76,033	25,410	総会費用(2,320円) 観察会経費(12,000円+2,450円) ホスティング(13,200円+13,200円) 事務所管理費(30,000円) 謝礼(2,863円)
合計	201,543	118,906	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和5年5月1日

市川市長

団体名

NPO法人市川にオオムラサキを生息させる会

（団体番号 37）

代表者名

所在地

令和5年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発事業

2 変更の内容

補助対象経費（その他経費）の内容を、新聞折込からポスティングの手法に変更

※目的（補助対象事業の告知・宣伝）、予算額に変更なし。

3 変更の理由

中山小・若宮小地区に対して新聞折込による告知・宣伝を行ってきたが、観察会の会場が市川駅南口図書館のため、市川駅周辺にポスティングを行った方が有効ではないかと判断したため。

